

IT21 の会（平成 18 年 2 月）第 96 回議事録

日 時：平成 18 年 2 月 3 日(金) 18 時 30 分～20 時 50 分

場 所：日本技術士会 葦手第二ビル 5 階 A・B 会議室

出席者：25 名 + ネット参加者 5 名

配布資料

- ・ 0602-1 北海道内陸地震発生状況と夜間気温上昇発生状況との相関について（犬伏裕之氏）
- ・ 0602-2 地震予測情報に関するアンケートのご協力をお願い（犬伏裕之氏）
- ・ 0602-3 COSO の概念図（黒澤兵夫氏）
- ・ 0602-4 第 9 期合宿のご案内（清水孝光氏）
- ・ 0602-5 IT21 の会 10 周年記念行事（案）（石井一夫氏）
- ・ 0602-6 出席表（阿部誠氏）

議 事

1. 議事および資料確認とネットミーティングの接続確認 阿部誠氏
2. 第 3 回世界ソフトウェア品質会議（2005/9 開催）の紹介 飯泉紀子氏

第 3 回世界ソフトウェア品質会議(以下 3WCSQ)は、ソフトウェアの品質・プロセス改善・開発手法などのソフトウェアエンジニアリングに関する産学協同のシンポジウムで、これまで 5 年に 1 回開催されており、昨年 9 月 26 日から 4 日間、ドイツ・ミュンヘン工科大学を会場に開かれた。飯泉氏は日科技連(JUSE)の調査団の一員として参加し、「機能仕様とテスト仕様の同時設計による検証品質向上手法」についての発表で、当日の投票により最優秀発表者賞に選ばれた。3WCSQ については次の URL よりアブストラクト等を見ることができる。
<http://www.isqi.org/isqi/eng/conf/wcsq/3/program.php>

発表内容は次のようなものである。ソフトウェア開発工程におけるテスト工程の問題、特にテスト項目の誤りや漏れによる手戻りを減らすことを目的として、テストに着目した品質向上に取り組むことになった。改善策として、テストの正確性と充分性を確保しつつ検証法を簡略化することをねらいとした手法（ツール）を考案した。これは、機能仕様を設計するタイミングでテスト仕様も同時に設計させるプロセス変更と、この同時設計を容易にするツールで構成される。このツールは Microsoft Word のマクロを利用して、機能仕様を作成すると同時にテスト仕様も作成できるようにしたものである。このツールを利用することで、機能設計者にテスト設計の責任も負ってもらうことになる。このツールの導入と利用支援により、プロセス変更を無理なく短期間に実施できた。その結果、テスト項目の充分性に大きな改善が見られ、エンジニアに対する満足度調査でも高い効果を上げたという結果が得られた。
3. PJ-JSN 地震予測プロジェクトの現状 犬伏裕之氏

「大地震前の地表面温度の上昇」を予測の基本原則とし「内陸地震発生と夜間気温上昇の関係」を大学院で研究している。気象による夜間気温上昇の影響を排除できる新発見の解説があり、本発見は地震予測精度向上に寄与する。
4. 企業改革法（日本版 SOX 法）と IT について 黒澤兵夫氏

米国での SOX 法の背景と概要、内部統制の目的と概念について説明があり、2008 年 3 月期の決算より日本版が適用される予定だが、日米間の差、日本での問題点について解説があった。今後は、よりいっそう IT 技術者の重要性必要性が増すであろうということである。
5. 4 月合宿の説明 清水孝光氏

詳細については、後日案内があるが、参加者は 30 名募集の予定で、会場に余裕があるので、それ以上も受け入れ可能である。
6. 一次試験合格者歓迎会の広報の説明 本田和幸氏

2 月 11 日に虎ノ門パストラルで行われる歓迎会で、パネル展示と書籍類の展示紹介を行う。
7. 10 周年企画 WG からのお知らせ 石井一夫氏

2007 年 4 月開催予定で、今後の予定について説明があった。
8. 今後 10 年先におけるこの IT のロードマップはいかに 桃井義雄氏

今後の産業構造や人口年齢構成の変化に伴う IT ロードマップの考察と、IT21 の今後のあり方について問題提起がなされた。

以 上（記載者：廣瀬由紀 記）